

令和6年度 九州医療専門学校 歯科技工士本科

科目名	歯科技工実習	学年	2 年 期生
担当者		期別	前期
単位数	5 単位	講義・実習	実習
コマ数・時間数	75コマ・150h	専任・兼任	専任
実務経験	歯科医院で2年間実務経験のある教員が教育を行う。		

一般目標 (GIO)

模型製作：基礎実習課題製作の為に模型製作をまとめて行うことによって、製作効率の良い模型製作方法を修得する。

実技評価試験Ⅰ：実技評価試験に合格するために、中心咬合位における総義歯人工歯の排列および歯肉形成を180分で製作完成させる技術を修得する。

実技評価試験Ⅱ：実技評価試験に合格するために、人工歯排列・歯肉形成と臼歯部全部鑄造冠ロウ型採得を規程時間に製作完成する技術を修得する。

国家試験対策：国家試験の実技試験に合格するために、矯正ベンディングと歯牙デッサン及び歯型彫刻を規程時間に製作完成する技術を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1・2				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (修復実習模型一次石膏模型) MB/HR/Br./テック	模型を製作するにあたり、支台歯がある一次石膏部分に気泡を混入させないように石膏注入ができる。
3・4				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (修復実習模型一次石膏模型) CAD/F-C/トレーニング模型	模型を製作するにあたり、支台歯がある一次石膏部分に気泡を混入させないように石膏注入ができる。
5・6				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (ダウエルピン植立) (二次石膏注入模型製作)	分割復位式模型を製作するためにダウエルピンの植立ができる。分割復位式模型を製作するために二次石膏注入ができる。
7・8				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (支台歯分割) (トリミング)	支台歯が歯列から着脱できるように分割ができる。ロウ型採得ができるように邪魔な歯肉部分を削除ができる。
9・10				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (有床義歯実習模型) FD/PD/MP	有床義歯学実習の石膏模型を気泡を混入させないように石膏注入ができる。
11・12				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (小児・矯正歯科学実習石膏模型)	小児・矯正歯科学実習の石膏模型を気泡を混入させないように石膏注入ができる。
13・14				模型製作 (基礎実習) 咬合器装着 (歯冠修復模型) (小児・矯正)	製作した上下模型を咬合器に装着ができる。
15・16				実技評価試験模型製作 ロウ堤形成器の製作	ロウ堤原型シリコン枠に石膏注入ができる。
17・18				実技評価試験模型製作 ロウ堤形成器の製作	ロウ堤原型石膏模型をシリコン枠に設置し石膏を注入できる。
19・20				実技評価試験模型製作 ロウ堤形成器の製作	ロウ堤形成器を3分割し、母模型のフィットを調整できる。
21・22				実技評価試験模型製作 ワックスアップ用模型製作	模型を製作するにあたり、支台歯がある一次石膏部分に気泡を混入させないように石膏注入ができる。
23・24				実技評価試験模型製作 ワックスアップ用模型製作	分割復位式模型を製作するためにダウエルピンの植立ができる。分割復位式模型を製作するために二次石膏注入ができる。
25・26				実技評価試験模型製作 ワックスアップ用模型製作	支台歯が歯列から着脱できるように分割ができる。ロウ型採得ができるように邪魔な歯肉部分を削除ができる。
27・28				実技評価試験模型製作 咬合器装着 (トレーニング用/試験用)	咬合器に石膏で装着し受験番号の記入ができる。
29・30				実技評価試験Ⅰ 人工歯排列 1 歯 肉形成 (上顎)	中心咬合位における人工歯排列ができる。義歯床の唇・頬側・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態にするとともに、義歯の機能を向上させるため蠟義歯の表面形態の形成ができる。

89・90			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 4	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蝕義歯の表面形態の形成を110分でできる。
91・92			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蝕型採得2課題の修正	大白歯の蝕型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
93・94			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 5	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蝕義歯の表面形態の形成を110分でできる。
95・96			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蝕型採得2課題の修正	大白歯の蝕型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
97・98			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 6	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蝕義歯の表面形態の形成を110分でできる。
99・100			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蝕型採得2課題の修正	大白歯の蝕型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
101・102			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 7	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蝕義歯の表面形態の形成を110分でできる。
103・104			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蝕型採得2課題の修正	大白歯の蝕型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
105・106			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 8	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蝕義歯の表面形態の形成を110分でできる。
107・108			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蝕型採得2課題の修正	大白歯の蝕型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
109・110			国家試験対策	矯正ベンディング A デッサン・歯型彫刻 1	平面の設計線Aに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(上顎中切歯・上顎側切歯)
111・112			国家試験対策	矯正ベンディング(A修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Aに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(上顎中切歯・上顎側切歯)
113・114			国家試験対策	矯正ベンディング B デッサン・歯型彫刻 2	平面の設計線Bに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(上顎犬歯・下顎犬歯)
115・116			国家試験対策	矯正ベンディング(B修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Bに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(上顎犬歯・下顎犬歯)
117・118			国家試験対策	矯正ベンディング C デッサン・歯型彫刻 3	平面の設計線Cに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(上顎第一小臼歯・上顎第二小臼歯)
119・120			国家試験対策	矯正ベンディング(C修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Cに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(上顎第一小臼歯・上顎第二小臼歯)
121・122			国家試験対策	矯正ベンディング D デッサン・歯型彫刻 4	平面の設計線Dに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(上顎第一大臼歯・上顎第二大臼歯)
123・124			国家試験対策	矯正ベンディング(D修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Dに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(上顎第一大臼歯・上顎第二大臼歯)
125・126			国家試験対策	矯正ベンディング A デッサン・歯型彫刻 5	平面の設計線Aに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(下顎第一小臼歯・下顎第二小臼歯)
127・128			国家試験対策	矯正ベンディング(A修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Aに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(下顎第一小臼歯・下顎第二小臼歯)
129・130			国家試験対策	矯正ベンディング B デッサン・歯型彫刻 6	平面の設計線Bに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(下顎第一大臼歯・下顎第二大臼歯)
131・132			国家試験対策	矯正ベンディング(B修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Bに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(下顎第一大臼歯・下顎第二大臼歯)
133・134			国家試験対策	矯正ベンディング C デッサン・歯型彫刻 7	平面の設計線Cに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(下顎中切歯・下顎側切歯)
135・136			国家試験対策	矯正ベンディング(C修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Cに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(下顎中切歯・下顎側切歯)
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	0%				国家試験対策の手引き
実技試験	0%				
提出物	100%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:45~12:15)

3限目(13:15~14:45)

4限目(15:00~16:30)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科技工士本科

科目名	有床義歯技工学(実習)□	学年	2年 期生
担当者		期別	前期
単位数	4単位	講義・実習	実習
コマ数・時間数	68コマ・136h	専任・兼任	専任
実務経験	歯科医院で1年間実務経験のある教員が教育を行う。		

一般目標 (GIO)

部分床義歯:部分床義歯を製作するための、咬合床の製作と人工歯の排列および歯肉形成、蠟義歯埋没およびレジン床の重合、咬合器再装着・人工歯の削合および義歯床の研磨を修得する。※維持装置・連結子は1年次製作済み。

全部床義歯:総義歯を製作するために、リングライズドオクルージョンにおける人工歯の排列およびレジン床の重合、研磨を修得する。

金属床義歯:コバルトクロム合金を使用したワンピースキャストによる上顎部分金属床義歯の製作法を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1				部分床義歯 床外形線の再記入	着脱方向の再確認を行い、床外形線の再記入ができる。
2				部分床義歯 咬合調整	咬合調整に必要な道具を準備し、中心咬合位に合わせて維持装置の高さの調整ができる。
3				部分床義歯 咬合堤の製作	維持装置・連結子を正しい位置に収め、パラフィンワックスで固定し辺縁封鎖ができる。
4				部分床義歯 咬合堤の製作	中間欠損・遊離端欠損、上下顎の咬合堤の製作の違いを理解し、基準線を用い咬合堤の高さを測定ができる。
5				部分床義歯 咬合堤の製作	パラフィンワックスを軟化圧接し、基準線の位置を確認し、欠損部にのせ焼き付けができる。
6				部分床義歯 咬合堤の製作	着脱方向を意識し、部分欠損においての残存歯との境界部・床縁部の関係を理解し、形成ができる。
7				部分床義歯 スプリットキャストの付与	スプリットキャストの目的・種類を理解し、作業模型に付与ができる。
8				部分床義歯 咬合器装着	咬合器の種類・目的を理解し、作業模型装着に必要な器材を準備ができる。(平均値咬合器使用)
9				部分床義歯 咬合器装着	分離・ボクシングの目的を理解し、作業模型に分離剤の塗布・ボクシングの操作ができる。
10				部分床義歯 咬合器装着	咬合平面板に上顎模型を置き、普通石膏で上顎模型の装着ができる。
11				部分床義歯 咬合器装着	下顎模型を上顎模型と咬合させ、上顎模型と同様、咬合器に装着ができる。
12				部分床義歯 咬合器装着	石膏硬化後、模型とスプリットキャスト板を分離し、分割面の状態を確認し、側面の面調整ができる。
13				部分床義歯 人工歯排列 人工歯選択	残存歯の位置・咬合状態を念頭において、欠損部義歯床の近遠心的長さ顎堤の状態を考慮し、人工歯の選択ができる。
14				部分床義歯 人工歯排列 ①	調節彎曲を理解し、下顎の咬合堤のカットを行い人工歯排列の基本に準じ対合歯の排列ができる。
15				部分床義歯 人工歯排列 ②	上顎右側同様、調節彎曲を理解し下顎の咬合堤のカットを行い、人工歯排列の基本に準じ反対側の排列ができる。
16				部分床義歯 人工歯排列 ③	後の人工歯選択削合を行うことを目的に、切歯指導ピンを0.5mm挙上させ、咬合紙を用い咬合状態を調べ、咬合紙の使用法を熟練し、上顎に合わせて中心咬合位における排列ができる。

17			部分床義歯	人工歯排列 ④	後の人工歯選択削合を行うことを目的に、切歯指導ピンを0.6mm挙上させ、咬合紙を用い咬合状態を調べ、咬合紙の使用法を熟練し、上顎に合わせて中心咬合位における排列ができる。
18			部分床義歯	人工歯削合	人工歯削合に適切な道具を準備ができる。
19			部分床義歯	人工歯削合	BULLの法則に準じて咬合紙を用い、中心咬合位・偏心咬合位の選択削合ができる。
20			部分床義歯	歯肉形成	中間欠損・遊離端欠損の床縁の違いを理解し、ワックスの性質を熟知しパラフィンワックスにて人工歯焼き付け・歯頸部のワックス盛り上げの操作ができる。
21			部分床義歯	歯肉形成 歯頸部切除	前歯部・臼歯部の歯頸線の角度の違いを理解し、また残存歯を参考に歯頸部切除ができる。
22			部分床義歯	歯肉形成 頬側面形成	残存歯との調和を考慮し、前歯部・臼歯部の豊隆の違い・歯根の方向を考え頬側面の歯肉形成ができる。
23			部分床義歯	歯肉形成 舌側面形成	残存歯の歯頸線を考慮し、食物停滞しないように滑らかな舌側面の歯肉形成ができる。
24			部分床義歯	歯肉形成 仕上げ	アルコールトーチの炎を操作し、表面を滑沢に仕上げ操作ができる。
25			部分床義歯	プラスチック埋没	埋没法の種類・操作手順を理解し、埋没に必要な道具を準備ができる。
26			部分床義歯	プラスチック埋没 一次埋没	アメリカ・フランス併用法を用い、普通石膏にて下輪埋没を始める。石膏硬化後、石膏面を平滑に修正し、石膏分離剤の塗布ができる。
27			部分床義歯	プラスチック埋没 二次埋没	硬質石膏にて義歯表面・人工歯の咬合面に気泡が入らないように練和操作を行い、上輪埋没ができる。
28			部分床義歯	プラスチック埋没 三次埋没	二次埋没終了後、上輪プラスチックを下輪プラスチックに適合し、普通石膏泥を流し込み蓋を開め、プラスチックプレスで固定ができる。
29			部分床義歯	流蠟	流蠟に必要な器材・道具を準備し、開輪のため、プラスチックをお湯による加熱ができる。
30			部分床義歯	流蠟	プラスチックを開輪し、流蠟を実施する。流蠟後、レジンを填入時に備え鋭角部をナイフによる削除を行い、レジン分離剤を石膏面全体に塗布ができる。
31			部分床義歯	重合	レジンを填入に必要な器材・材料を準備し、レジンを填入に必要なレジンの計測を行い、ポリマー・モノマーを混ぜ餅状になったら填入ができる。
32			部分床義歯	重合	油圧プレス機を用い試圧を数回を行い、プラスチックプレスで固定を実施し、ヒートショック法を用い重合ができる。
33			部分床義歯	開輪	開輪に必要な道具を準備し、模型を破損させない様注意し開輪ができる。
34			部分床義歯	咬合器再装着	人工歯咬合面や接合面などの石膏の除去を行い、メルト液に浸し石膏の除去を行い、重合後の作業模型・義歯床を石膏スプリットに適合させ、咬合器上の模型維持部のスプリットに装着ができる。
35			部分床義歯	人工歯の削合	人工歯削合に必要な道具を選択し、BULLの法則に準じて咬合紙を用い、中心咬合位・偏心咬合位の選択削合ができる。
36			部分床義歯	研磨 形態修正	研磨に必要な道具を準備し、部分床において、中間欠損・遊離端欠損部の床縁部の厚みに注意し、義歯床の形態修正ができる。
37			部分床義歯	研磨 荒研磨	技工用エンジンを使用し、荒研磨ができる。
38			部分床義歯	研磨 中研磨	高速レーズを使用し、維持装置を留意し、変形させない中研磨ができる。
39			部分床義歯	研磨 仕上げ研磨	高速レーズ・技工用エンジンを使用し、仕上げ研磨ができる。
40			部分床義歯	洗浄・完成	スチーマーを用いて、義歯・模型の洗浄を実施し、作業模型に適合ができる。
41			金属床	作業模型の製作	石膏練和に必要な器材を準備し、石膏の練和を行い、模型ゴム枠に石膏を流す。石膏硬化後、ゴム枠の高さに模型基底面をトリマーも用いて調整ができる。
42			金属床	着脱方向の決定	着脱方向の決定に必要な道具(サベイヤール)を準備し、使用法を理解し、着脱方向の決定のためにサベイングができる。
43			金属床	金属床外形線の記入	床外形線を解剖学的指標により判断し、金属床外形線の記入ができる。
44			金属床	アンダーカットのブロック	ブロックアウトに必要な道具を準備し、石膏によるアンダーカット部のブロックを行う。
45			金属床	模型の緩衝	緩衝の部位・目的を理解し、必要な材料を準備し、シートワックスによるリリースを行う。

46			金属床	寒天印象(複印象)	複印象に必要な道具を準備し、作業模型を吸水させ、フラスコ中央にセットし、気泡の混入に注意し、寒天印象材の注入を行う。
47			金属床	寒天印象(冷却)	寒天印象材の注入後、放冷し、ステップに分けて水中にて冷却ができる。
48			金属床	耐火模型の製作 (作業模型の取り出し)	耐火模型製作に必要な道具を準備し、寒天印象材の冷却後フラスコを分離し、寒天を傷つけないよう注意し、作業模型の取り出しができる。
49			金属床	耐火模型の製作 (耐火模型材の注入)	寒天印象材が破損しないよう寒天にエアをかけ、高温耐火性模型材を真空攪拌し、気泡が入らないように注意し模型材の注入ができる。
50			金属床	耐火模型のトリミング	硬化完了した耐火模型を壊れないようにフラスコから取り出しを行い、トリマーを用い模型辺縁のトリミングができる。
51			金属床	耐火模型の表面処理・乾燥	表面処理に必要な道具を準備し、表面処理の操作法・目的を理解し、モデルコートを使用して表面処理をし、オープンにて乾燥ができる。
52			金属床	設計線の複写	設計線の複写に必要な道具を準備し、耐火模型を傷つけないよう注意し設計線の複写ができる。
53			金属床	蠟形成	ワックスアップに必要な道具を準備し、耐火模型を傷つけないよう注意し、ワックスアップのマニュアルに沿ってワックスアップができる。
54			金属床	蠟形成	義歯床の唇・頬・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態に状態にすると共に、義歯の機能を向上させる表面形態の形成ができる。
55			金属床	蠟形成	ワックスアップし、トーチをあて表面を滑沢にすることを目的に最終仕上げができる。
56			金属床	辺縁封鎖	辺縁封鎖の目的を理解し、瞬間接着剤を用いて辺縁封鎖ができる。
57			金属床	耐火模型のトリミング	ワックスを傷つけないよう注意し、耐火模型の不要な部分をトリマーを用い除去ができる。
58			金属床	スプレー線の植立	湯流れのよいスプレイングを理解し、耐火模型を金属床用フラスコの底部ラバーにワックスにて固定を行い、上方植立法を用いスプレイングができる。
59			金属床	埋没	埋没に必要な道具を準備し、ワックスパターンに界面活性剤を、プラスチックリングにワセリンを塗布し、気泡が入らないように注意し埋没ができる。
60			金属床	鋳造	耐火材の硬化後、ファーンを使用し、設定された上昇温度スケジュールでワックス焼却ができる。
61			金属床	鋳造	アルゴンキャスターの操作法を理解し、アルゴンキャスターで鋳造ができる。
62			金属床	割り出し	割り出しに必要な道具を準備し、鋳造後放冷し埋没材から鋳造体の割り出しができる。
63			金属床	スプレー線のカット	高速レーズ・技工用エンジンを使用し、スプレー線のカットができる。
64			金属床	研磨 荒研磨	研磨に必要な道具を準備し、技工用エンジンを使用し荒研磨ができる。
65			金属床	研磨 中研磨	技工用エンジンを使用し、維持装置を留意し、変形させない中研磨ができる。
66			金属床	研磨 電解研磨	電解研磨器に金属床をセットし、電解研磨ができる。
67			金属床	研磨 仕上げ研磨	高速レーズ・技工用エンジンを使用し、仕上げ研磨ができる。
68			金属床	洗浄・完成	スチーマーを用いて、金属床・模型の洗浄を実施し、作業模型に適合ができる。
69					

評価基準		教科書	参考書
提出物	100%	歯科技工学実習帳 有床義歯技工学	有床実習マニュアル 部分床義歯2
	%		有床実習マニュアル 金属床義歯
	%		
	%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:45~12:15)

3限目(13:15~14:45)

4限目(15:40~16:30)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科技工士本科

科目名	歯冠修復技工学(実習)	学年	2年 期
担当者		期別	後期
単位数	4単位	講義・実習	実習
コマ数・時間数	71コマ・142h	専任・兼任	専任
実務経験	歯科医院で2年間実務経験のある教員が教育を行う。		

一般目標 (GIO)

プロビジョナルクラウン:プロビジョナルクラウンの意義と目的を理解し、常温重合レジンを用いたプロビジョナルクラウンの製作法を習得する。

レジン前装冠:金銀パラジウム合金を使用したレジン前装冠の製作法を習得する。

陶材焼付金属冠:陶材焼付金属冠における二層築盛の方法を習得する。

前歯部固定性ブリッジ:ワンピースキャスト法による前歯部固定性ブリッジ(レジン前装冠)の製作法を習得する。※メタルフレームまで

回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1				プロビジョナルクラウン 作業模型の製作・トリミング	模型ゴム枠に石膏を流しゴム枠の高さに模型基底面を調整するトリーマーの使用法を身につけ、支台歯のフィニッシュラインを理解し、トリミングを行う。
2				プロビジョナルクラウン 歯冠形態の回復	支台歯の移動防止・機能の維持・審美性の維持・歯周組織の保護などを考慮した歯冠形態を理解し、形態回復を行う。
3				プロビジョナルクラウン 作業模型の印象・レジン圧入	印象材・常温重合レジンの操作を身につけ、レジンの圧入を実施する。
4				プロビジョナルクラウン 作業模型の印象・レジン圧入	印象材・常温重合レジンの操作を身につけ、レジンの圧入を実施する。
5				プロビジョナルクラウン 形態修正・研磨	研磨の目的を理解し、研磨を実施する。
6				プロビジョナルクラウン 形態修正・研磨	研磨の目的を理解し、研磨を実施する。
7				レジン前装冠 一次石膏注入	模型ゴム枠に石膏を流しゴム枠の高さに模型トリーマーにて調整を行う。
8				レジン前装冠 回転防止溝の形成 ダウエルピンの植立	U字形の回転防止溝を形成し、歯型を歯列模型から着脱できるように歯型の底部にダウエルピンの取り付けを行う。
9				レジン前装冠 二次石膏注入	歯列基底面に分離材を薄く塗布し、既製の型枠などを用い台付けを行う。
10				レジン前装冠 歯型の分割	フィニッシュラインを傷つけることのないよう石膏鋸を用い分割をし、歯型が抜き差しできることを確認を行う。
11				レジン前装冠 トリミング	トリミングの目的を理解し、歯型のトリミングを行う。
12				レジン前装冠 対合歯列模型の調整	咬合器に収まる高さに調整し、石膏による装着を確実にするため基底面にアンダーカットの付与を行う。
13				レジン前装冠 咬合器装着	上下顎模型を咬頭嵌合位でかませ、咬合器装着を行う。
14				レジン前装冠 ロウ形採得	対合歯との咬合関係を考慮するとともに反対側同名歯と同じ形態を再現し、隣在歯などの残存歯との調和のとれたワックスアップを実施する。
15				レジン前装冠 窓あけ	窓あけの目的を理解し、窓あけ操作を行う。
16				レジン前装冠 維持装置の付与	リテンションピースの目的を理解し、付与を行う。

17			レジン前装冠	スプルー線の植立	鑄造欠陥が起こらないスプルーイングを理解し、植立を実施する。
18			レジン前装冠	埋没・鑄造	前装冠の埋没操作を身につけ、遠心鑄造機を用い金銀パラジウム合金の融解・鑄造を行う。
19			レジン前装冠	支台歯への試適	スコープを用い気泡、バリなどをフィッシャーバーにて削り、適合の確認を行う。
20			レジン前装冠	コンタクトポイント・咬合調整	咬合紙を用い咬合紙が少し抵抗があつて抜ける強さに調整を行う。
21			レジン前装冠	メタルフレームの調整	レジン前装後にリテンションビーズが露出せず、また金属がみえないような辺縁部先端調整を行う。
22			レジン前装冠	オパークプライマーの塗布	機械的維持力と化学的維持力の違いを理解し、金属接着プライマーの塗布を行う。
23			レジン前装冠	オパークの塗布・重合	オパークレジンの目的(金属色の遮断)を理解し、塗布・重合を行う。
24			レジン前装冠	サービカルレジンの築盛・重合	ボディレジンとの色調の移行性を考慮しながら、歯頸部から切端に向かって薄くなるように築盛を行う。
25			レジン前装冠	ボディレジンの築盛・重合	エナメル部分との色調の移行性を考慮し、指状構造を付与しながら、面溝や隆線などの立体的な表現を行う。
26			レジン前装冠	エナメルの築盛・重合	気泡の混入に注意しながら、形態修正、研磨分を考え最終形態よりやや大きめに築盛を行う。
27			レジン前装冠	トランスルーセントの築盛・重合	歯の透明感を再現するため、トランスルーセントの築盛を行う。
28			レジン前装冠	形態修正	反対側同名歯と同じ形態を再現し、面溝や隆線などの立体的な表現を身に付け、形態修正を行う。
29			レジン前装冠	研磨	研磨の目的を理解し、仕上げ研磨を行う。
30			レジン前装冠	洗浄	研磨材の汚れをスチーマーにて洗浄を行う。
31			陶材焼付金属冠	作業用模型の製作・咬合器装着	歯型可撤式模型の製作法を習得し、上下顎模型を咬頭嵌合位でかませ咬合器装着を行う。
32			陶材焼付金属冠	作業用模型の製作・咬合器装着	歯型可撤式模型の製作法を習得し、上下顎模型を咬頭嵌合位でかませ咬合器装着を行う。
33			陶材焼付金属冠	歯冠形態の回復	対合歯との咬合関係を考慮するとともに、反対側同名歯と同じ形態とし、隣在歯など残存歯と調和のとれたワックスアップを行う。
34			陶材焼付金属冠	歯冠形態の回復	対合歯との咬合関係を考慮するとともに、反対側同名歯と同じ形態とし、隣在歯など残存歯と調和のとれたワックスアップを行う。
35			陶材焼付金属冠	窓あけ	陶材の厚みが均一となるように前装スペースの窓あけを行う。
36			陶材焼付金属冠	窓あけ	陶材の厚みが均一となるように前装スペースの窓あけを行う。
37			陶材焼付金属冠	埋没・鑄造	舌側にリムーバブルノブを付与し、スプルー線植立、埋没を行う。
38			陶材焼付金属冠	埋没・鑄造	高周波誘導融解を使用した鑄造法を習得し、ニッケル系の金属で鑄造を行う。
39			陶材焼付金属冠	取り出し	埋没材の中の鑄造体の取り出しを行う。
40			陶材焼付金属冠	メタルフレームの調整	辺縁部先端の厚みは可及的に1mmとし、穴が開かないようメジャリングデバイスで厚みを確認しながら、前装部の厚みの調整を行う。
41			陶材焼付金属冠	メタルフレームの調整	辺縁部先端の厚みは可及的に0mmとし、穴が開かないようメジャリングデバイスで厚みを確認しながら、前装部の厚みの調整を行う。
42			陶材焼付金属冠	メタルフレームの調整	辺縁部先端の厚みは可及的に1mmとし、穴が開かないようメジャリングデバイスで厚みを確認しながら、前装部の厚みの調整を行う。
43			陶材焼付金属冠	メタルフレームの調整	辺縁部先端の厚みは可及的に2mmとし、穴が開かないようメジャリングデバイスで厚みを確認しながら、前装部の厚みの調整を行う。
44			陶材焼付金属冠	アルミナブラスト処理・ディギャッシング	陶材とのなじみをよくし、機械的な嵌合力を増すためにブラスト処理を行う。酸化膜の生成と焼付面の汚物を除去するために、加熱処理を行う。
45			陶材焼付金属冠	アルミナブラスト処理・ディギャッシング	陶材とのなじみをよくし、機械的な嵌合力を増すためにブラスト処理を行う。酸化膜の生成と焼付面の汚物を除去するために、加熱処理を行う。
46			陶材焼付金属冠	オパーク陶材の築盛・焼成	ベースオパーク焼成で金属色の遮断を行う。

47			陶材焼付 金属冠	オペーク陶材の築盛・焼成	シェードオペーク焼成で金属色の遮断を行う。
48			陶材焼付 金属冠	デンティン陶材の築盛	コンデンスの意義を理解し、焼成収縮分を考慮した大きさに築盛を行う。
49			陶材焼付 金属冠	エナメル色陶材の築盛	コンデンスの意義を理解し、焼成収縮分を考慮した大きさに築盛を行う。
50			陶材焼付 金属冠	補足焼成	不足部分の築盛を行い焼成する。
51			陶材焼付 金属冠	形態修正①	隣接面部と咬合部の調整を行う
52			陶材焼付 金属冠	形態修正②	隣在歯と同じ形に形態修正を行う。
53			陶材焼付 金属冠	形態修正③	表面を天然歯と同じような表面性状に調整を行う。
54			陶材焼付 金属冠	形態修正③	表面を天然歯と同じような表面性状に調整を行う。
55			陶材焼付 金属冠	ステイニング・艶出し焼成	天然歯のような光沢、色調を再現するためステイニング・艶出しを行う。
56			陶材焼付 金属冠	ステイニング・艶出し焼成	天然歯のような光沢、色調を再現するためステイニング・艶出しを行う。
57			陶材焼付 金属冠	メタル研磨	酸化した金属部分の研磨を行う。
58			前歯部固定 性ブリッジ	作業用模型の製作	歯型可撤式模型の製作法を習得し、欠損部は隣接支台歯のフィニッシュ ラインを傷つけないように分割を行う。
59			前歯部固定 性ブリッジ	咬合器装着	上下顎模型を咬頭嵌合位でかませ、咬合器装着を行う。
60			前歯部固定 性ブリッジ	支台装置のワックスアップ	対合歯との咬合関係の確認や欠損部幅径とのバランスを考慮して解剖学 的形態の回復を行う。
61			前歯部固定 性ブリッジ	欠損部の作業用模型の調整	研磨分を考慮して粘膜部を削り、調整を行う。
62			前歯部固定 性ブリッジ	ボンティックのワックスアップ	咬合関係や支台装置とのバランスを考慮しながら解剖学的形態の付与を 行う。
63			前歯部固定 性ブリッジ	ボンティック基底部の形成	ボンティック基底部形態による分類を理解し、偏側型に形成を行う。
64			前歯部固定 性ブリッジ	連結	ボンティックの位置がずれないよう、咬合関係を確認して連結部の製作を 行う。
65			前歯部固定 性ブリッジ	窓あけ	窓あけ操作の目的を理解し、窓あけ操作を行う。
66			前歯部固定 性ブリッジ	維持装置の付与	接着剤の塗り過ぎでアンダーカットがなくならないよう注意し、リテンション ピース(維持)の付与を行う。
67			前歯部固定 性ブリッジ	スプルー線の植立	ワックスパターンが変形しないよう注意してスプルー線の植立を行う。
68			前歯部固定 性ブリッジ	埋没・鋳造	ワックスパターンとリングの距離に注意し、前装部のアンダーカットの中ま で埋没材が入るよう慎重に埋没を行い、遠心鋳造機にて鋳造を行う。
69			前歯部固定 性ブリッジ	支台歯への試適	内面の気泡などを除去して1歯ずつ歯型との適合の確認を行う。
70			前歯部固定 性ブリッジ	コンタクトポイント・咬合調整	隣接面接触点と咬合関係の調整を行う。
71			前歯部固定 性ブリッジ	研磨	シリコンポイントにて中研磨まで研磨を行う。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%				歯冠修復マニュアル2 前歯部固定性ブリッジ(九州医療専門学校)
	%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:45~12:15)

3限目(13:15~14:45)

4限目(15:00~16:30)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科技工士本科

科目名	小児歯科技工学	学年	2年 期生
担当者		期別	前期
単位数	1単位	講義・実習	講義
コマ数・時間数	8コマ・16h	専任・兼任	兼任
実務経験	歯科大学 小児歯科学分野で診療		

一般目標(GIO)

小児の成長発達と小児歯科における歯科治療の重要性を理解する。

小児歯科技工の特徴を理解する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				小児歯科とは	小児歯科について説明できる。
2				心身の発育	小児の成長と発達を説明できる。
3				顎・顔面および歯列の発育	顎・顔面と歯列の発育について説明できる。
4				乳歯および幼若永久歯の特徴	乳歯および幼若永久歯の特徴を説明できる。
5				乳歯と若永久歯の歯冠修復	乳歯と幼若永久歯の歯冠修復について説明できる。
6				咬合誘導	静的咬合誘導と動的咬合誘導について説明できる。
7				咬合誘導装置1	保隙装置の種類と特徴について説明できる。
8				咬合誘導装置2	スペースリテーナーやその他の動的咬合誘導記咬合誘導装置について説明できる。
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	100%	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学	
	%		
	%		
	%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:45~12:15)

3限目(13:15~14:45)

4限目(15:00~16:30)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科技工士本科

科目名	小児歯科技工学	学年	2年 期生
担当者		期別	前期
単位数	1単位	講義・実習	実習
コマ数・時間数	16コマ・32h	専任・兼任	兼任
実務経験	一般社団法人 日本小児歯科学会認定 専門医指導医歴13年目の教員が実習を行う。		

一般目標 (GIO)

小児は単に成人のミニチュアではなく身体的、精神的、機能的、更には社会的に成長発達の途上にあり、日々変化を続けている。このように、変化に富んだ小児期を対象とした咬合誘導装置の設計、製作方法を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1				クラウンループ 作業模型の製作	クラウンループの作業用模型製作をできる。
2				クラウンループ 外形線の設計	クラウンループの設計ができる。
3				クラウンループ 蝋着	クラウンループの蝋着ができる。
4				クラウンループ 研磨	クラウンループの研磨ができる。
5				床型保隙装置 作業模型の製作	床型保隙装置の作業用模型製作をできる。
6				床型保隙装置 外形線の設計・ワイヤーベンディング	床型保隙装置の設計・ワイヤーベンディングができる。
7				床型保隙装置 レジン歯排列・石膏コア、レジン床の製作	床型保隙装置のレジン歯排列・石膏コア、レジン床製作ができる。
8				床型保隙装置 研磨	床型保隙装置の研磨ができる。
9				スペースリグナー 作業模型の製作	床型スペースリグナーの作業用模型製作をできる。
10				スペースリグナー 外形線の設計・ワイヤーベンディング	床型スペースリグナーの設計、ワイヤーベンディングができる。
11				スペースリグナー 拡大ねじの固定、レジン床の製作	床型スペースリグナーの拡大ネジの固定、レジン床製作ができる。
12				スペースリグナー 研磨	床型スペースリグナーの研磨ができる。
13				舌側弧線装置 作業模型の製作	舌側弧線装置の作業用模型製作をできる。
14				舌側弧線装置 外形線の設計、STロックの蝋着	舌側弧線装置の設計、STロックを蝋着ができる。
15				舌側弧線装置 ワイヤーベンディング、蝋着	舌側弧線装置のワイヤーベンディング、蝋着ができる。
16			4	舌側弧線装置 研磨	舌側弧線装置の研磨を行う。

評価基準		教科書	参考書
提出物	100%	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学	
	%		
	%		
	%		

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:45~12:15)

3限目 (13:15~14:45)

4限目 (15:00~16:30)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科技工士本科

科目名	矯正歯科技工学		学年	2 年 期生	
担当者			期 別	前期	
単位数	1 単 位		講義・実習	講義	
コマ数・時間数	8コマ・16h		専任・兼任	兼任	
実務経験	公益社団法人日本矯正歯科学会 指導医歴7年および矯正歯科在籍歴22年				
一般目標 (GIO)					
<p>近年、矯正歯科治療の進歩および普及により、従来の若年者のみならず成人の矯正治療患者が増加している。</p> <p>矯正歯科材料の物理的性質ならびに矯正装置の構造・作用機序について理解をさらに深めるため、</p> <p>矯正装置の材料、製作手順を理解し、矯正装置の知識を習得する。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1				1～3章 矯正治療とは	不正咬合と正常咬合について説明できる。
2				4章 矯正治療の進め方	症例分類を列記できる。
3				5, 6章 矯正技工用器具と器械	矯正線の屈曲、自在鑷付けについて説明できる。
4				7, 8章 矯正用模型の製作法	矯正用模型の種類と特徴を説明できる。
5				9章 矯正装置の製作法	矯正装置を列挙し、製作法を説明できる。
6				9章 矯正装置の製作法	矯正装置を列挙し、製作法を説明できる。
7				10章 保定装置	保定装置を列挙し、特徴を説明できる。
8				10章 保定装置	保定装置を列挙し、特徴を説明できる。
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	最新 歯科技工士教本 矯正歯科技工学			
	%				
	%				
	%				

1限目 (9:00～10:30) 2限目 (10:45～12:15) 3限目 (13:15～14:45) 4限目 (15:00～16:30)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科技工士本科

科目名	矯正歯科技工学	学年	2 年 期生
担当者		期別	前期
単位数	1 単位	講義・実習	実習
コマ数・時間数	20コマ・40h	専任・兼任	兼任
実務経験	公益社団法人日本矯正歯科学会 認定医歴3年および矯正歯科在籍歴8年		

一般目標 (GIO)

近年、矯正歯科治療の進歩および普及により、従来の若年者のみならず成人の矯正治療患者が増加している。矯正歯科材料の物理的性質ならびに矯正装置の構造・作用機序について理解をさらに深めるため、模型を用いて代表的な矯正装置の製作を行い、同時に矯正技工の基本手技と装置製作法を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1				線屈曲 線屈曲	矯正歯科材料の物理的性質について理解し、プライヤーを用いた線屈曲が行える。
2				線屈曲 線屈曲	矯正歯科材料の物理的性質について理解し、プライヤーを用いた線屈曲が行える。
3				線屈曲 線屈曲	矯正歯科材料の物理的性質について理解し、プライヤーを用いた線屈曲が行える。
4				線屈曲 線屈曲	矯正歯科材料の物理的性質について理解し、プライヤーを用いた線屈曲が行える。
5				自在鑑付け 自在ろう着	補助弾線の屈曲により歯の移動に必要な矯正力について理解し、自在ろう着が行える。
6				自在鑑付け 自在ろう着	補助弾線の屈曲により歯の移動に必要な矯正力について理解し、自在ろう着が行える。
7				自在鑑付け 自在ろう着	補助弾線の屈曲により歯の移動に必要な矯正力について理解し、自在ろう着が行える。
8				自在鑑付け 自在ろう着	補助弾線の屈曲により歯の移動に必要な矯正力について理解し、自在ろう着が行える。
9				保定装置 床装置の維持装置の作製	維持用ワイヤーの屈曲が行える。
10				保定装置 床装置の維持装置の作製	維持用ワイヤーの屈曲が行える。
11				保定装置 床装置のレジン操作	各種床装置に必要なレジン築成が行える。
12				保定装置 床装置のレジン操作	各種床装置に必要なレジン築成が行える。
13				FKO アクチバトールの作製	Ⅲ級アクチバトール (FKO) についてその構造、製作法および作用について理解し、製作できる。
14				FKO アクチバトールの作製	Ⅲ級アクチバトール (FKO) についてその構造、製作法および作用について理解し、製作できる。
15				FKO アクチバトールの作製	Ⅲ級アクチバトール (FKO) についてその構造、製作法および作用について理解し、製作できる。
16				FKO アクチバトールの作製	Ⅲ級アクチバトール (FKO) についてその構造、製作法および作用について理解し、製作できる。

17			FKO	アクチバートルの作製	Ⅲ級アクチバートル(FKO)についてその構造、製作法および作用について理解し、製作できる。
18			FKO	アクチバートルの作製	Ⅲ級アクチバートル(FKO)についてその構造、製作法および作用について理解し、製作できる。
19			FKO	アクチバートルの作製	Ⅲ級アクチバートル(FKO)についてその構造、製作法および作用について理解し、製作できる。
20			FKO	アクチバートルの作製	Ⅲ級アクチバートル(FKO)についてその構造、製作法および作用について理解し、製作できる。
評価基準			教科書		参考書
提出物	100%	最新 歯科技工士教本 矯正歯科技工学			新 矯正装置ビジュアルガイド
	%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:45~12:15)

3限目(13:15~14:45)

4限目(15:00~16:30)

令和6年度 九州医療専門学校 歯科技工士本科

科目名	歯科技工実習	学年	2年	期生
担当者		期別	前期	
単位数	9単位	講義・実習	実習	
コマ数・時間数	136コマ・272h	専任・兼任	専任	
実務経験	歯科医院で2年間実務経験のある教員が教育を行う。			

一般目標 (GIO)

模型製作：基礎実習課題製作の為に模型製作をまとめて行うことによって、製作効率の良い模型製作方法を修得する。

実技評価試験Ⅰ：実技評価試験に合格するために、中心咬合位における総義歯人工歯の排列および歯肉形成を180分で製作完成させる技術を修得する。

実技評価試験Ⅱ：実技評価試験に合格するために、人工歯排列・歯肉形成と臼歯部全部鑄造冠ロウ型採得を規程時間に製作完成する技術を修得する。

国家試験対策：国家試験の実技試験に合格するために、矯正ベンディングと歯牙デッサン及び歯型彫刻を規程時間に製作完成する技術を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1・2				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (修復実習模型一次石膏模型) MB/HR/Br./テック	模型を製作するにあたり、支台歯がある一次石膏部分に気泡を混入させないように石膏注入ができる。
3・4				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (修復実習模型一次石膏模型) CAD/F-C/トレーニング模型	模型を製作するにあたり、支台歯がある一次石膏部分に気泡を混入させないように石膏注入ができる。
5・6				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (ダウエルピン植立) (二次石膏注入模型製作)	分割復位式模型を製作するためにダウエルピンの植立ができる。分割復位式模型を製作するために二次石膏注入ができる。
7・8				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (支台歯分割) (トリミング)	支台歯が歯列から着脱できるように分割ができる。ロウ型採得ができるように邪魔な歯肉部分を削除ができる。
9・10				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (有床義歯実習模型) FD/PD/MP	有床義歯学実習の石膏模型を気泡を混入させないように石膏注入ができる。
11・12				模型製作 (基礎実習) 模型製作 (小児・矯正歯科学実習石膏模型)	小児・矯正歯科学実習の石膏模型を気泡を混入させないように石膏注入ができる。
13・14				模型製作 (基礎実習) 咬合器装着 (歯冠修復模型) (小児・矯正)	製作した上下模型を咬合器に装着ができる。
15・16				実技評価試験 模型製作 ロウ堤形成器の製作	ロウ堤原型シリコン枠に石膏注入ができる。
17・18				実技評価試験 模型製作 ロウ堤形成器の製作	ロウ堤原型石膏模型をシリコン枠に設置し石膏を注入できる。
19・20				実技評価試験 模型製作 ロウ堤形成器の製作	ロウ堤形成器を3分割し、母模型のフィットを調整できる。
21・22				実技評価試験 模型製作 ワックスアップ用模型製作	模型を製作するにあたり、支台歯がある一次石膏部分に気泡を混入させないように石膏注入ができる。
23・24				実技評価試験 模型製作 ワックスアップ用模型製作	分割復位式模型を製作するためにダウエルピンの植立ができる。分割復位式模型を製作するために二次石膏注入ができる。
25・26				実技評価試験 模型製作 ワックスアップ用模型製作	支台歯が歯列から着脱できるように分割ができる。ロウ型採得ができるように邪魔な歯肉部分を削除ができる。
27・28				実技評価試験 模型製作 咬合器装着 (トレーニング用/試験用)	咬合器に石膏で装着し受験番号の記入ができる。
29・30				実技評価試験Ⅰ 人工歯排列 1 肉形成 (上顎) 歯	中心咬合位における人工歯排列ができる。義歯床の唇・頬側・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態にするとともに、義歯の機能を向上させるため蠟義歯の表面形態の形成ができる。

89・90			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 4	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蟻義歯の表面形態の形成を110分でできる。
91・92			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蟻型採得2課題の修正	大白歯の蟻型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
93・94			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 5	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蟻義歯の表面形態の形成を110分でできる。
95・96			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蟻型採得2課題の修正	大白歯の蟻型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
97・98			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 6	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蟻義歯の表面形態の形成を110分でできる。
99・100			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蟻型採得2課題の修正	大白歯の蟻型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
101・102			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 7	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蟻義歯の表面形態の形成を110分でできる。
103・104			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蟻型採得2課題の修正	大白歯の蟻型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
105・106			実技評価試験Ⅱ	人工歯排列・歯肉形成 8	中心咬合位における人工歯排列を70分でできる。義歯の機能を向上させるため蟻義歯の表面形態の形成を110分でできる。
107・108			実技評価試験Ⅱ	上顎第一大臼歯の蟻型採得2課題の修正	大白歯の蟻型採得を60分でできる。実技評価試験2課題を合格基準を満たすように修正ができる。
109・110			国家試験対策	矯正ベンディング A デッサン・歯型彫刻 1	平面の設計線Aに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(上顎中切歯・上顎側切歯)
111・112			国家試験対策	矯正ベンディング(A修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Aに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(上顎中切歯・上顎側切歯)
113・114			国家試験対策	矯正ベンディング B デッサン・歯型彫刻 2	平面の設計線Bに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(上顎犬歯・下顎犬歯)
115・116			国家試験対策	矯正ベンディング(B修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Bに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(上顎犬歯・下顎犬歯)
117・118			国家試験対策	矯正ベンディング C デッサン・歯型彫刻 3	平面の設計線Cに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(上顎第一小臼歯・上顎第二小臼歯)
119・120			国家試験対策	矯正ベンディング(C修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Cに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(上顎第一小臼歯・上顎第二小臼歯)
121・122			国家試験対策	矯正ベンディング D デッサン・歯型彫刻 4	平面の設計線Dに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(上顎第一大臼歯・上顎第二大臼歯)
123・124			国家試験対策	矯正ベンディング(D修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Dに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(上顎第一大臼歯・上顎第二大臼歯)
125・126			国家試験対策	矯正ベンディング A デッサン・歯型彫刻 5	平面の設計線Aに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(下顎第一小臼歯・下顎第二小臼歯)
127・128			国家試験対策	矯正ベンディング(A修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Aに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(下顎第一小臼歯・下顎第二小臼歯)
129・130			国家試験対策	矯正ベンディング B デッサン・歯型彫刻 6	平面の設計線Bに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(下顎第一大臼歯・下顎第二大臼歯)
131・132			国家試験対策	矯正ベンディング(B修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Bに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(下顎第一大臼歯・下顎第二大臼歯)
133・134			国家試験対策	矯正ベンディング C デッサン・歯型彫刻 7	平面の設計線Cに沿って矯正線の屈曲ができる。各歯芽の形態をデッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現ができる。(下顎中切歯・下顎側切歯)
135・136			国家試験対策	矯正ベンディング(C修正) デッサン・歯型彫刻(修正)	平面の設計線Cに沿って矯正線の屈曲修正ができる。デッサンと石膏彫刻によって歯の特徴再現修正ができる。(下顎中切歯・下顎側切歯)
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	0%				国家試験対策の手引き
実技試験	0%				
提出物	100%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:45~12:15)

3限目(13:15~14:45)

4限目(15:00~16:30)